

令和2年度老人保健健康増進等事業

介護ロボットの安全利用に関する調査研究事業

株式会社三菱総合研究所

高齢社会日本の大きな社会課題の一つは労働人口の減少と介護を必要とする人の増加である。慢性的な人手不足の中でより良い介護の質を担保するために、その解決策の一つとしてもものづくり日本の強みであるロボット技術を介護現場に導入をしていく活動が進んでいる。介護ロボットという全く新しい道具を現場で導入していく上においては、安全の担保が必要不可欠である。

一方で、介護の現場に関わらず、「ヒヤリとする」「ハットする」出来事、事故に至る可能性のあった事実として発見したケースを「ヒヤリハット」というが、ハインリッヒの法則からも1件の大きな事故が発生しないために、ヒヤリハットを収集し、対策を検討することが重要である。

本事業では、介護ロボット利用上における安全性を確保するため、アンケート調査・ヒアリング調査を通じて介護ロボットの活用時のヒヤリハット事例収集を行い、介護ロボットの活用における安全を確保するために必要となる事項を整理するとともに、介護ロボットの安全な使用方法や使用に当たっての注意すべき点等を整理し「介護ロボットを安全に使うためのポイント集」を作成することを目的とした。

具体的に行った取り組みは、以下のとおりである。

- ① 学識者・有識者から構成する会議体を設置し、介護ロボットの利用におけるヒヤリハットの収集方法、「介護ロボットを安全に使うためのポイント集」の構成・内容等について検討を行った。
- ② 「介護ロボットを安全に使うためのポイント集」のための基礎材料、またヒアリング調査の対象抽出を目的として、介護ロボットを安全に活用するための体制や介護ロボットを安全に利用するためのポイント、およびヒヤリハット事例について、介護ロボットを導入している施設・事業所、介護ロボットを販売しているメーカーに対してアンケート調査を行った。
- ③ 本事業の施設向けアンケート調査において、アンケート調査で把握しきれない、介護ロボットを安全に活用するための取組・委員会での議論内容・介護ロボットの使用にかかるヒヤリハット事例を把握することを目的としたヒアリング調査を実施した。
- ④ アンケート調査及びヒアリング調査結果を踏まえて、施設・事業所で介護ロボットを安全に利用するための「介護ロボットを安全に使うためのポイント集」の作成を行った。

検討結果は、有識者会議での検討を経て、「介護ロボットを安全に使うためのポイント集」としてとりまとめた。今後、インターネットで公開し、介護ロボットを取り扱っている・取り扱いを検討している介護事業所・施設や介護ロボットメーカー等、幅広く活用いただくことを期待したい。